

< 府立高校改革推進計画に基づく >

第 1 次 実 施 計 画

平成 1 5 年 7 月
京都府教育委員会

府立高校改革推進計画に基づく
第1次実施計画

計画の趣旨

京都府教育委員会では、平成15年3月に「府立高校改革推進計画」を策定しました。この推進計画は、国際化、情報化などの社会の変化、生徒の個性化・多様化の進行など多くの課題にこたえるため、今後実施する府立高校改革の基本的な考え方や施策の骨組みを示したものです。

この推進計画に基づき、今後10年程度の間、具体的な計画を複数回に分けて策定していくこととしています。

今回、策定した第1次実施計画は、「中学生から選ばれる高校づくり・希望する高校を選べるシステムづくり」を観点として、「新しい多様で柔軟な教育システムの構築」及び「主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善」を目指し、学科の改編や通学区域の拡大、選抜制度の改善などの具体的な施策を示したものです。

実施時期

平成16年度（平成16年4月入学者の選抜）

計画の内容

1 新しい多様で柔軟な教育システムの構築

普通科の特色づくりと多様化

生徒の興味・関心を高める特色あるコースを設置する「普通科総合選択制」を導入します。

< 実施校 >	府立洛東高校
< 通学区域 >	京都市東通学圏
< 選抜方法 >	一般選抜及び推薦入学
< 一般選抜の実施方法 >	単独選抜

総合学科の今後の展開

生徒の学習ニーズや進路の多様化に対応する「総合学科」を設置します。

< 実施校 >	府立南丹高校
< 通学区域 >	口丹通学圏（当面は亀岡市とし、北桑田郡及び船井郡については入学枠を設定）
< 選抜方法 >	一般選抜及び推薦入学
< 一般選抜の実施方法 >	単独選抜

中高一貫教育の導入

これまでの中学校・高等学校に加えて、中等教育の一層の多様化を図るため、「中高一貫教育」を実施します。

< 実施校 >	府立洛北高校（中学校を併設）
< 府立中学校の通学区域 >	府内全域
< 府立中学校の入学者決定方法 >	面接、作文・製作、調査書及び抽選を用いて、総合的に決定

2 主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善

通学区域の改善

一人一人の希望に応じた高校選択の範囲を広げるため、通学区域を拡大します。

< 実施地域 > 山城地域

< 実施内容 > 山城北通学圏と山城南通学圏を統合し、山城通学圏を設定

新しい入学者選抜方法

学びたい学校を自ら選択し、志願できるように、選抜方法を改善します。

< 実施地域 > 山城地域

< 実施内容 > 普通科第 類の単独選抜化
受験機会の複数化と多元的な評価尺度の導入

- 前期選抜 ・ 高等学校の特色に応じた生徒を募集
・ 自己申告書、面接、作文、報告書等による選抜
・ 募集定員の10%以内を募集
- 中期選抜 ・ 普通科を第1志望とする場合、第3順位まで入学したい高校の希望が可能
- 後期選抜 ・ 中期選抜までの結果、定員が未充足となっている学科等において実施

普通科第 類・第 類の一括募集
(推薦入学を実施する第 類英語系を除く。)